

持続可能で変化をもたらす力

ヘルスパートナーシップ

研究開発型の製薬企業が「グローバルヘルス」を向上させるための1つの方法には、多数のステークホルダーとの対話及び250以上の現地パートナーシップとの連携がある。
 このような協同から得られた経験から、市民社会、民間団体、地方自治体及び中央政府間にある、「変化をもたらすパートナーシップ」及び「アカウントビリティ・フレームワーク」により、グローバルヘルスの改善が可能であり、最終的にはより平等で包摂的かつ持続可能な開発がもたらされることが示されている。

国際製薬団体連合会 (IFPMA) のウェブページによると:

250以上のパートナーシップ実績がある

20以上の製薬企業が参加している

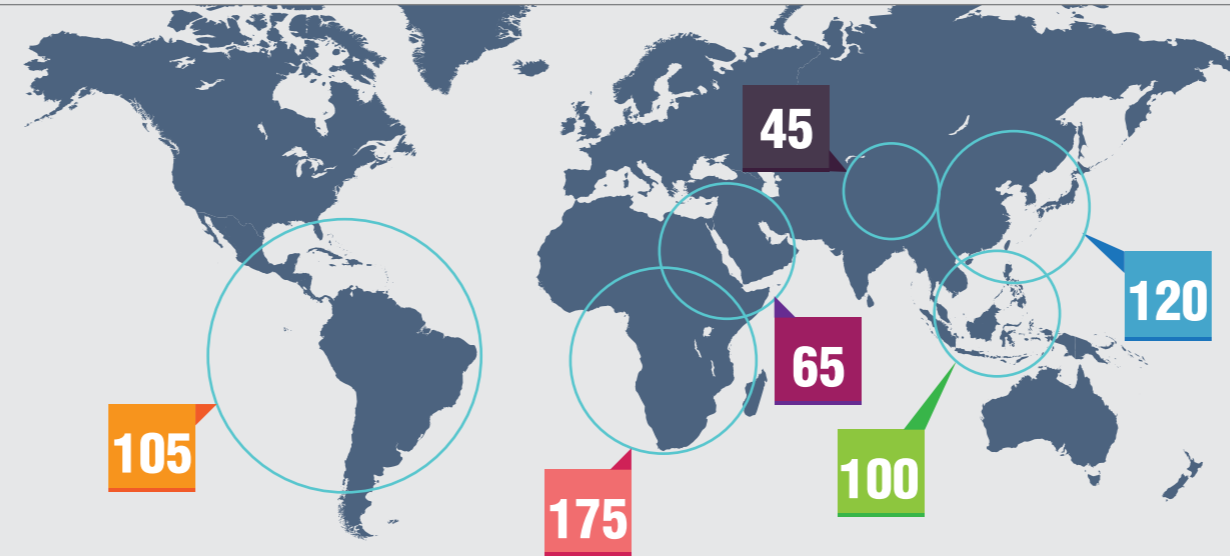
1000以上パートナーが存在する

重要成功要因

- ✓ 健康ニーズを満たすような根拠に基づく手法を採用する
- ✓ 広範囲かつ多数の会社によるパートナーシップに参加する
- ✓ 共用リソース及び専門知識の最大化のためにパートナーシップの連携を確実なものとする
- ✓ 既存の各国システムの使用及び現地でのオーナーシップを推進する
- ✓ 成果及び影響度を追跡するためにより包括的な手段を確立する

ヘルスパートナーシップが何をもたらすか?

			
より強力な医療システムの構築、医療へのアクセス、健康に対する意識及びトレーニングの改善。	革新的なツール及びアプローチの開拓。	低・中所得の国における科学知識の向上、新たな薬剤及びワクチンの発見。	健康増進を図ることにより、開発途上国における経済成長を支援。






ラテンアメリカ及びカリブ海地方	サハラ砂漠以南のアフリカ	中東及び北アフリカ	中央アジア	南アジア	東アジア及び太平洋地方
ブラジル 55	タンザニア 105	エジプト 40	ウズベキスタン 30	インド 85	インドネシア 60
ハイチ 55	ケニア 95	モロッコ 35	ロシア 25	ブータン 55	ベトナム 60
ボリビア 45	ウガンダ 85	イエメン 30	タジキスタン 25	バングラデシュ 55	中国 55
	カメルーン 80				

援助国とのパートナーシップ

米国	19
EU	11
英国	11
フランス	5
ノルウェー	4
スウェーデン	4
スイス	4
カナダ	3
デンマーク	3
アイルランド	3
オーストラリア	2
ドイツ	2
日本	2

プログラムの種類

			
185	165	150	95
パートナーシップ	パートナーシップ	パートナーシップ	パートナーシップ
医療システムの構造基盤 (訓練を受けた労働者、操作情報システム、十分な物理的インフラ) への取組み。	治療へのアクセス向上 (段階的価格、製品寄付、技術移転)。	感染性疾患及び非感染性疾患 (NCDs) の蔓延防止 (ワクチン、認知向上及び行動変化)。	開発途上国の疾病に対する新たな治療の開発 (研究開発力の向上、小児用の研究開発などを含む)。

トップ4 中心的疾病分野

女性及び小児の健康	115
感染症 (HIV/AIDS、マラリア、結核)	110
非感染性疾患	80
顧みられない熱帯病	50

トップ5 疾病

HIV/AIDS	55
マラリア	40
糖尿病	40
結核	35
癌	35

トップ4 パートナータイプ

非政府組織 (NGO)	385
学術機関及び病院	270
政府	170
その他事業者	130

トップ5 被援助国

タンザニア	105
ケニア	95
インド	85
ウガンダ	85
カメルーン	80

頻度の高いパートナー

世界保健機関	40
国際連合	35
ビル&メリンダ・ゲイツ財団	25
疾病管理予防センター	15



各パートナーシップの詳細把握や興味のある地域又は国のパートナーシップをデータベースにより選定するには、www.partnerships.ifpma.org をご確認ください。